

# NEWS 港湾ニュース

## ■「北方海域技術研究委員会 平成 29 年度 定例会」を開催しました

2017 年 10 月 6 日、稚内水産試験場にて「北方海域技術研究委員会 平成 29 年度 定例会」(主催：日本技術士会北海道本部 北方海域技術研究委員会、後援：地方独立行政法人 北海道立総合研究機構)を開催しました。定例会は港湾・水産関係技術者の技術力向上を目指して、例年、道内各地で開催しており、本年は稚内市にて 48 名の参加を得ました。

定例会は、まず会場である稚内水産試験場の場内現地視察を行い、その後に場内会議室にて講演会を行いました。

現地視察では稚内水産試験場 調査研究部長の山口幹人氏と主幹の美坂正氏により、稚内水産試験場の沿革や、試験研究の概要を説明して頂き、その後は平成 10 年に新築された庁舎を巡回して研究室、分析・観測機器、飼育水槽などの様々な施設を視察しました。



現地視察の様子

講演会は、研究委員会の若林代表の趣旨説明と北海道立総合研究機構 稚内水産試験場長の前田圭司氏の開会挨拶を皮切りに、ご講演 3 件の内容にて開催しました。

まず、稚内水産試験場 調査研究部 管理増殖グループ主査の佐野稔氏から「資源管理と漁家経営を両立する資源管理支援システム」と題して、宗谷地方の

日本技術士会 北海道本部 北方海域技術研究委員会

漁業を支える短波海洋レーダを活用した潮流予測技術や、マナマコの資源管理についてご講演いただきました。

次いで、北海道開発局 稚内開発建設部 稚内港湾事務所 計画係長の伊藤雅和氏から「ウラジオストクを中心とするロシア極東の港湾情勢」と題して、隣国ロシア連邦およびウラジオストクの概要と沿海地方に点在する港湾の概要や最近のトピックをご講演いただきました。

最後に、稚内市役所 建設産業部 物流港湾課 事業推進グループ主査の扇谷憲生氏から「稚内港クルーズ拠点港に向けた取り組みについて」と題して、稚内港のクルーズ船寄港状況や、今後のクルーズ船誘致に向けた岸壁整備やポートセールスの状況などをご講演いただきました。



熱心に講演に耳を傾ける参加者

いずれの講演も、活発な質疑応答が交わされ、北方海域の今後の展望について考える有益な機会となりました。

最後に、ご多忙な中、快くご講演をお引き受けいただいた各講師と、企画全体を通じて全面的にご協力いただいた北海道立総合研究機構 稚内水産試験場の皆様に心から御礼申し上げます。